

編集後記

大学教育機能開発センター紀要第4号を発刊することができました。本年度は、教養教育研究部門（旧 全学教育研究部門）の語学担当の全教員が新設の言語教育研究センターに移ったため、本センターはスタッフ数名の寂しい部署となりました。しかし、長崎大学の教育改革の推進を担う役割に変わりはありません。本号では、学長からの巻頭論文を掲載するとともに、教養教育改革にかかわる4編の一般論文を収めることができました。小さな紀要となってしまいましたが、これまで以上に学内外の教育改善の参考資料となることを祈っています。

2013年3月

山地 弘起